

# 身障者福祉の向上をめざして

## 身障者福祉の関連施設が完成

県では、身体障害者のための福祉施設として、身体障害者の社会的、職業的な更生に重点を置いて、身体障害者更生相談所、同更生指導所を設置し、その運営を図ってきましたが、今日のように変動する社会経済情勢のもとでは、身体障害者の発生の増加及び多様化が予測されます。そこで、これからの身体障害者福祉施策においては、身体障害者のための総合的な体系化した体制を確立することが重要な課題となってきました。

そこで、県が日赤病院の隣りに建設を進めていた、身障者福祉の関連施設のうち、身体障害者リハビリテーションセンターがこのほど完成したことによって、関係施設がすべて整いましたので、これらの施設を紹介し、あわせて関係者のご利用をお願いいたします。

### 身体障害者リハビリテーションセンター

県では、昭和四十七年度から身障者の福祉施設の問題について全面的に調査検討を加え、身体障害者個々の身体的、精神的、社会的および職業的な能力を最大限に引出すために治療から社会復帰をとおしての体系的システム化を求めるとし、その中核的な役割を持つ施設として、身体障害者リハビリテーションセンターを建設しました。

このセンターは、機能的に大別しますと、相談部門と、主として肢体不自由者を対象とした更生施設部門並びに補装具製作部門とから成立っています。

身体障害者リハビリテーションの基礎部門を分担しますが、特に医学的リハビリテーションを重視し、医療スタッフや理学療法士、作業療法士等の専門的技術スタッフについては、日赤病院並びに熊本大学病院の全面的な協力をいただいています。

#### 〔更生相談部門〕

身体（手、足、体）の不自由な人、耳の聞こえない人、目の見えない人等、身体に障害のある人達の相談相手となって、次のような内容の医学的、心理学的ならびに職業的判定（専門的な診断）を行い、社会復帰（自立更生）に最もよい方法を助言し、指導するところです。

#### ◎医学的判定

障害の現症の診断、更生医療の要否及び方法の判定、補装具の要否及び処方ならびに適合の判定、職業的動作、能力の判定

#### ◎心理学的判定

知的活動能力及び社会適応能力の判定、心理的特性及び心理的更生指導の方法の判定

#### ◎職業的判定

動作能力及び特性、職業適応性の判定  
相談日

#### 所内相談

科 目	相 談 日	時 刻
肢体障害	毎週火、金曜日	受付
聴覚障害	毎週（第五を除く）水曜日	自十三時
視覚障害	毎週（第五を除く）木曜日	自十四時
腎臓障害	毎月第一、三の日	診察
心臓障害	毎月第一、三の日	自十四時
呼吸器障害	毎月第一、三の日	自十六時
心理、職能、更生関係	日曜、祭日を除く毎日	

#### 〔更生指導部門〕

し体の不自由な人が入所または通所して、機能の回復訓練、社会生活適応訓練、職能訓練などを受けて、その障害を克服し、一日も早く社会に復帰して社会経済活動に参与できるように指導するところです。

#### ◎入所資格

十五歳以上の者で、身体障害者手帳を持っていてし体不自由者で、更生の意欲があり、日常生活に介護を必要としない者。車椅子使用者も入所できます。

#### ◎入所時期

毎年四月上旬、但し、必要によりいつでも入所できます。

#### ◎入所期間

一年間。但し、必要に応じて延長することがあります。

#### ◎入所定員

七十名（うち通所十名）

#### ◎入所生の処遇

（一）訓練に必要な経費は一切いりません  
（二）完備した寮の設備があります  
（三）食費は、その世帯の収入が、国の定

める収入基準額に満たない場合は公費負担です。

#### ◎日用品は、各自持参することになっていきます。

#### ◎食費の公費負担者には、更生訓練費等が支給されます。

#### ◎入所手続

次の書類を居住地の町村役場を經由して県福祉事務所（市の場合は、市福祉事務所へ直接）へ提出してください。  
（一）入所等申請書 （二）履歴書 （三）身体検査書 四）日常生活動作表

#### 訓練内容

#### ◎機能回復訓練

先ず「体を作る」をモットーに、医師の処方と指示に基づいて、各種の訓練用具、設備等を用いて、障害の部位、程度に応じた機能回復訓練を毎日一時間以上行うほか、一般体操、競技、遠足など計画的に行い、基礎体力の養成を図り、併せて心理的更生も行います。また、主として通所で脳卒中後遺症を含む在宅身体障害者を対象に日常生活動作訓練を実施します。

#### ◎難聴児問題解消のため、乳幼児の聴能検査及び補聴器装着訓練と言語治療の要否の判定等を実施します。

#### ◎社会生活適応訓練

「心（人）を作れ」をモットーに、社会人として必要な円満な良識と世の荒波にもくじけず強く生き抜く根性ある人格の育成を図ります。



▲熊本市の旧空港跡に建設された福祉センター群  
①リハビリテーションセンター ②福祉センター ③体育館 手前は日赤病院